

## 担い手づくり部門（ア）

### 福井県三方中郡若狭町 有限会社かみなか農楽舎

取締役：しもじま 下嶋 ゆきお 幸夫 氏

作付面積：45ha（水稻（主食用米22.5ha、醸造用米2.6ha、飼料用米10.2ha）、大麦4.3ha、そば3.7ha、その他1.4ha）



#### <取組概要>

「都市からの若者の就職定住を促進し、集落を活性化すること」を大きな目標とし、農業後継者の確保と地域活性化の実現を目指す農業法人として、町・地元農家・民間企業の共同出資により、2001年に設立した農業法人。就農定住研修事業、インターンシップ事業、体験学習事業、農業生産事業、直販事業の5つの事業を実施。

就農定住研修事業では、町・地元集落・認定農業者の3者体制を組むことで、栽培技術等の生産段階から加工、販売実習、経営管理といった多角的な研修を実施し、即戦力となる人材を育成。研修中から農地・機械・住宅・世話人の準備を進めるとともに外部研修や地域の担い手との交流会を開催し、円滑な就農定住を支援。

また、研修終了者と後継者のいない認定農業者との法人設立や共同生産を行うなど円滑な経営継承に尽力。

これまでに26名の研修生が地元への就農定住を実現。機械レンタルや作業補助のほか、卒業生の生産物を買付けて販売するなど、卒業後のサポートも充実。研修終了者の耕作面積は192haと町内の農地面積の1割超を達成。

同社の売上高も2015年6,344万円、2016年6,897万円、2017年7,058万円と年々増加。地域への就農定住者の教育・育成に貢献しながら、自らも地域農業の担い手としての経営発展を両立。